作成日　2004 年 09 月 01 日
改訂日　2014 年 08 月 01 日

安全データシート（ＳＤＳ）

１．製品及び会社情報

製品名：キャプロン®（ポリエチレン気泡緩衝シート）

会社名：㈱ＪＳＰ
住　所：東京都千代田区丸の内三丁目４番２号新日石ビル
担当部門：第一事業本部　生活産業資材事業部　担当部署：産業資材部
電話番号：０３（６２１２）６３４３　FAX 番号：０３（６２１２）６３４９
緊急連絡先：㈱ＪＳＰ鹿沼第一工場　第一事業本部　生産技術部
電話番号：０２８９（７６）２２１１

２．危険有害性の要約

重要危険有害性及び影響：可燃性固体（消防法指定可燃物である）
ＧＨＳ分類：
＜物理化学的危険性＞

危険有害性項目	分類区分	危険有害性情報
爆発物	分類対象外	
可燃性・引火性ガス	分類対象外	
エアゾール	分類対象外	
支燃性・酸化性ガス	分類対象外	
高圧ガス	分類対象外	
引火性液体	分類対象外	
可燃性固体	分類できない	［消防法指定可燃物］
自己反応性化学品	分類対象外	
自然発火性液体	分類対象外	
自然発火性固体	分類対象外	
自己発熱性化学品	分類対象外	
水反応可燃性化学品	分類対象外	
酸化性液体	分類対象外	
酸化性固体	分類対象外	
有機過酸化物	分類対象外	
金属腐食性物質	分類対象外	

＜健康に対する有害性＞

危険有害性項目	分類区分	危険有害性情報
急性毒性（経口）	分類できない	
急性毒性（経皮）	分類できない	
急性毒性（吸入）	分類できない	
皮膚腐食性・刺激性	分類できない	
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性	分類できない	
呼吸器感作性	分類できない	
皮膚感作性	分類できない	
生殖細胞変異原性	分類できない	
発がん性	分類できない	
生殖毒性	分類できない	
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	分類できない	
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	分類できない	
吸引性呼吸器有害性	分類できない	

＜環境に対する有害性＞

危険有害性項目	分類区分	危険有害性情報
水生環境有害性（急性）	分類できない	
水生環境有害性（長期間）	分類できない	
オゾン層への有害性	分類できない	

＜ＧＨＳラベル要素＞

絵表示　　非該当
注意喚起語　　非該当
危険有害性情報　非該当
注意書き　　非該当

※この危険有害性情報は、ポリエチレンシートを直接評価・判定したものではなく、含有成分について、独立行政法人製品技術基盤機構（ＮＩＴＥ）の評価情報及び各成分の MSDS 情報を基に判定しました。

３．組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別　　混合物

含有成分	ポリエチレン	帯電防止剤
含有量(wt%)	97.0～100	3.0 以下
化学式又は構造式	$(-C_2H_4-)_n$	―
官報公示整理番号（化審法）	6-1	
労働安全衛生法（通知対象）	該当しない	
ＣＡＳ　Ｎｏ	9002-88-4	

４．応急措置

吸入した場合：高温の溶融樹脂から発生するガスを吸入した場合は、新鮮な空気のある場所に移す。咳、呼吸困難、またはその他の症状がでる場合には医師の手当てを受ける。

皮膚に付着した場合：障害を及ぼす恐れはほとんどないが、かゆみなどの異常を感じる様であれば医師の診断を受ける。

眼に入った場合：切り屑等が眼に入ったときは、眼を擦らずに清浄な水で洗い流す。

飲み込んだ場合：起こりにくいが、飲み込んでも急性毒性はない。大量に飲み込んだ場合は、医師の診断を受ける。

５．火災時の措置

消火剤：水、粉末消火剤、泡消火剤

消火方法：直ちに消防署へ通報するとともに、着火源をたち、風上から消火器･多量の水で消火する。
消火作業の際は、黒煙、一酸化炭素などが発生するので吸い込まないように注意する。また、状況に応じて適切な防火服や呼吸器具を着用する。

６．漏出時の措置

シート状の形態であるので、該当しない。

人体に対する注意事項：床に飛散すると滑り易く転倒の恐れがある。

環境に対する注意事項：飛散した製品が河川、水路等へ流れ込まないように回収する。

回収方法：飛散した場合は拾い集めて回収する。この時、着火源になるものを近づけない。

７．取扱い及び保管上の注意

＜取扱い＞

１．技術的対策
火炎・爆発の防止　：周囲は火気厳禁とする。

２．局所排気　：成形作業では、溶融により低分子量成分の揮発が生じるので、これを排除する為の有効な局所排気装置等を設置する。

３．注意事項　：情報無し

４．安全取扱い注意事項：高温の溶融樹脂から発生するガスを吸入したり、皮膚に触れたりしないように、適切な保護具を着用する。

５.その他注意事項　：3000ｋｇ以上を貯蔵、取扱う場合は、所轄消防庁への届出が必要です。

＜保管＞

１．技術的対策　：貯蔵を行なう場合は、火気厳禁にする。

２．保管条件　：直射日光が当たらないように保管する。

３．容器包装材料　：クラフト紙、ポリエチレン袋等。

８．ばく露防止及び保護措置

管理濃度　：未設定

許容濃度　：未設定

設備対策：特になし。

保護具：保護手袋：シートのエッジで手を切る可能性があるので、手袋を着用することが望ましい。

９．物理的及び化学的性質

		ポリエチレン気泡緩衝シート
形状		シート状固体
色		白、ピンク、青
臭気		無臭
pH		該当しない
融点　℃		100～140℃
沸点　℃		該当しない
ガス比重（空気＝1）		該当しない
嵩密度（kg/m^3）		6～200
引火点　℃		データ無し
発火点　℃		データ無し
爆発限界 (vol %)	上限	該当しない
	下限	該当しない
溶解性		水に不溶。熱キシレン等の有機溶剤に溶ける。

※融点は主要な融点を示しています。

１０．安定性及び反応性

自己反応性　　：　なし
安定性　　：一般的な取扱において安定
危険有害反応可能性：　なし
避けるべき条件　　：長期の直射日光
混触危険物質　　：特になし
危険有害な分解生成物：アルデヒド及びその他の有機系の蒸気

１１．有害性情報

ポリエチレン気泡緩衝シートに関してデータなし
(ポリエチレンに関する情報)
急性毒性　　：データなし
皮膚腐食性及び皮膚刺激性　　：なし
眼に対する重篤な損傷性、眼刺激性：なし
呼吸器感作性又は皮膚感作性　　：なし
生殖細胞変異原性　　：データなし
発がん性　　：ＩＡＲＣのグループ３（人に対する発がん性は評価できない）に分類されている。*1
生殖毒性　　：データなし
特定標的臓器毒性、単回ばく露　：データなし
特定標的臓器毒性、反復ばく露　：データなし
吸引性呼吸器有害性　　：データなし

１２．環境影響情報

生態毒性　　：データなし

残留性・分解性　　：データなし
生体蓄積性　　：データなし
土壌中の移動性　　：データなし
オゾン層への有害性：オゾン層破壊物質であるフロン、ハロン類は使用していない。

１３．廃棄上の注意

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に従って焼却又は埋め立てを行う。地方自治体の規制がある場合は、それに従うこと。（回収リサイクルが可能である。）

また、包装に関しても同様である。

１４．輸送上の注意

＜国連分類及び国連番号＞

国連分類及び国連番号　　該当しない。

＜特別な安全対策＞

1.喫煙・溶接の火花などの発火源のない、風通しのよい場所で荷役作業を行う。
2.積荷の近くは火気厳禁とする。
3.トラック輸送時には通気性を考慮の上、シート掛けを行う。
4.輸送トラックには消火器を備える。
5.水濡れ、荷崩れ防止措置を行う。
6.包装を傷つけたり、破袋させるような乱暴な取扱いをしない。

１５．適用法令

消防法：指定可燃物［合成樹脂類、3000ｋｇ以上］
（政令第１条の 12 別表第 4）

次のいずれの法律にも規制されない。

労働安全衛生法、毒物劇物取締り法、船舶安全法、化学物質の審査及び製造等の規制に関する法律、ＰＲＴＲ法、

１６．その他の情報（引用文献等）

*1；IARC　MONGORAPHS Supplement No.7　Overall evaluation of carcinogenicity：An updating of IARC Monographs Volumes 1-42(1987)

以上の情報は新しい知見により改訂されることがあります。
また、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであって、特殊な取り扱いの場合には用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用ください。
以上は情報提供であって、保証するものではありません。